



10月2日 新人看護職員対象

輸液ポンプ・シリンジポンプ研修、IVナースプログラム「レベルI」研修が開催されました！

目的「医療機器の安全な取り扱いや管理方法について理解し実践できる」
 「輸液ポンプ・シリンジポンプの安全な取り扱い方法を習得し、助言を受けて正しく使用できる」
 「看護師の責務と基本的知識を学び、安全に静脈注射を実施できる」

- 目標・医療機器の取り扱いや、破損時や返却時の対応について理解できる
- ・輸液ポンプ・シリンジポンプ使用方法の基本的な知識を学ぶことができる
 - ・輸液ポンプ・シリンジポンプを手順に沿って実践できる
 - ・安全に静脈注射を実施するための必要な知識を学ぶことができる

輸液ポンプ・シリンジポンプ研修でははじめに、輸液ポンプ・シリンジポンプの正しい取り扱いについて臨床工学課のCEさんから講義があり、輸液ポンプ・シリンジポンプ取り扱いのデモンストレーションのあと、グループ毎に2人一組となり演習を行いました。演習には新人看護師会の西7階病棟の河村主任と手術室の荒木主任、医療安全管理室室員の赤坂主任がインストラクターとして助言をしてくれました。

IVナースレベルIプログラム研修では東6階病棟の石見主任さんから「IVナースの役割と責務」「医師の指示と看護師の自立的判断」「針刺し事故防止マニュアル」「麻薬・毒薬・向精神薬・血液製剤・輸血製剤について」「アナフィラキシー反応について」説明がありました。

演習では2人一組となり、一人が手順とチェックリストを読み上げ、一人が実際に輸液ポンプとシリンジポンプを操作しながら手順通りに実践する、という演習を行いました。新人看護師の皆さんは緊張した面持ちで一人一人が真剣なまなざしでポンプ類を操作しているのが印象的でした。



正しい手順が学ぶことができ良かったです。新たな気づきもありました。

機械は怖いなと思っていましたが、これからは怖がらずに対応できそうです。

みんな一生懸命なので教え甲斐がありました。今後に期待します。

OJTで学んだことの根拠や原理を確認できる機会となり、良かったです。

先輩がアラーム対応をしてくれていたけど、今度からはわたしが先に対応できそうです。

ポンプに触る機会が少なく自信がなかったけど、積極的に操作してみようと思います。

プライミング時のエア抜きを、正しい手順でできるようになりました。

医療機器の扱いについて知ってもらえたと思います。正しく扱っていただければ大丈夫です。



新人看護師の皆さんは一つ一つできることが増えてきましたね。引き続き、部署でのOJTをよろしくお願ひします。

